東京しごとセンター

厚生労働省在宅就業者総合支援事業
自分らしい働き方発見セミナー

第2回 在宅ワークから再就職まで

在宅就業をはじめるにあたって

堤 香苗

株式会社キャリア・マム 代表取締役（CEO）

平成25年9月30日

在宅就業をはじめる にあたって

株式会社 キャリア・マム

2013年９月30日

career mam

「100,000人のママのネットワーク」のキャリア・マムは、
個（個人）と集団（企業）をつなぐコミュニケーションのプロフェッショナルです

在宅就業の注意点

POINT 在宅就業は、自宅がオフィスで、自分は社長兼、社員

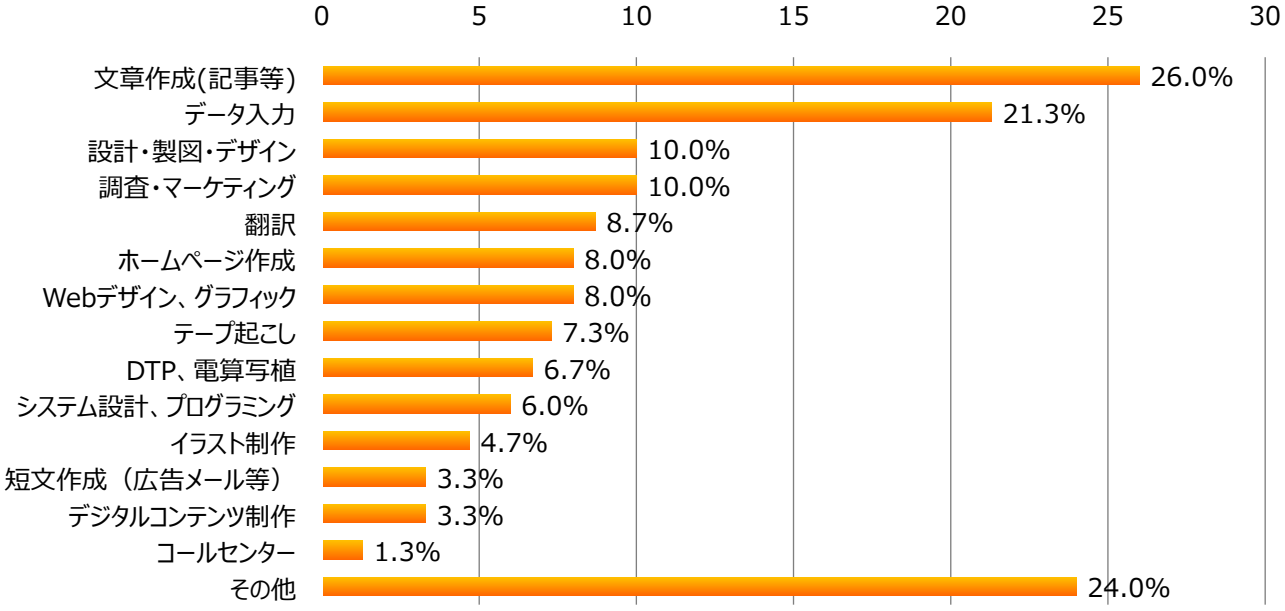
POINT 作業、営業、経理（確定申告なども）、すべて自分でこなしていかなければならない

POINT 「初めてだから・・・」は、在宅就業には通用しない。
在宅就業を始める時にしっかりとした心構えをもつ。

在宅ワークの現状・発注側の求めるもの

1）在宅ワークの職種

文書作成、データ入力、設計・製図・デザイン、調査・マーケティングが多い

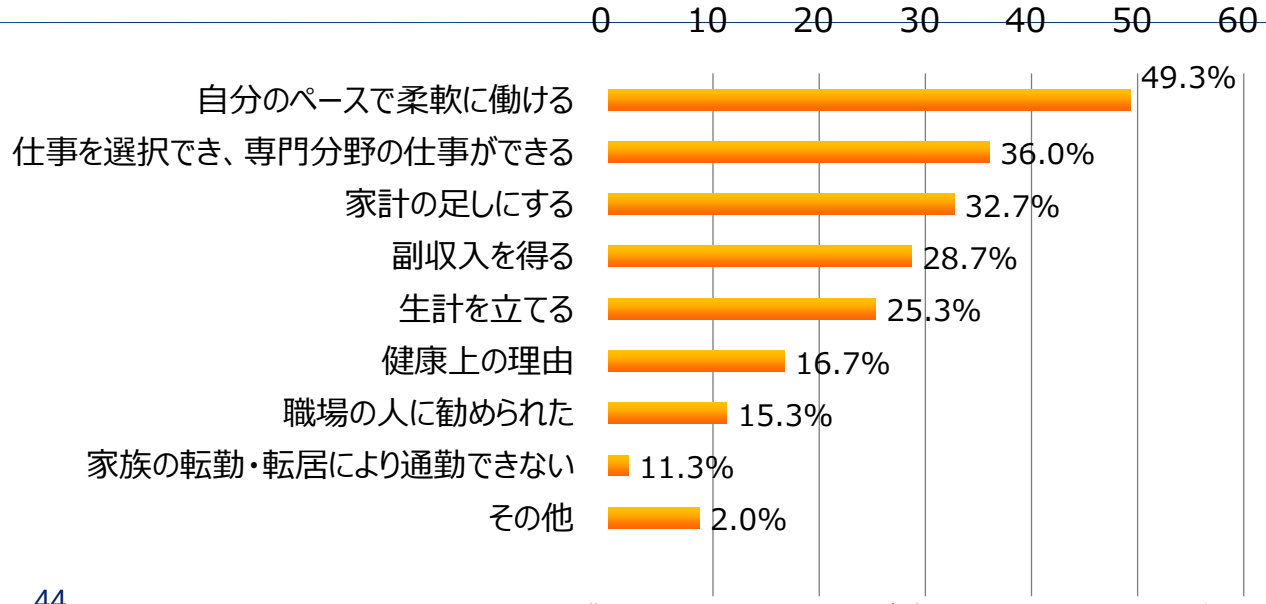


出典 ： HOME WORKERS WEB在宅ワークに関するアンケート 2012年

在宅ワークの現状・発注側の求めるもの

2）在宅ワーカーを選んだ理由

「自分のペースで柔軟・弾力的に働けること」、「仕事が選択でき、自分の専門分野の仕事ができる」が上位

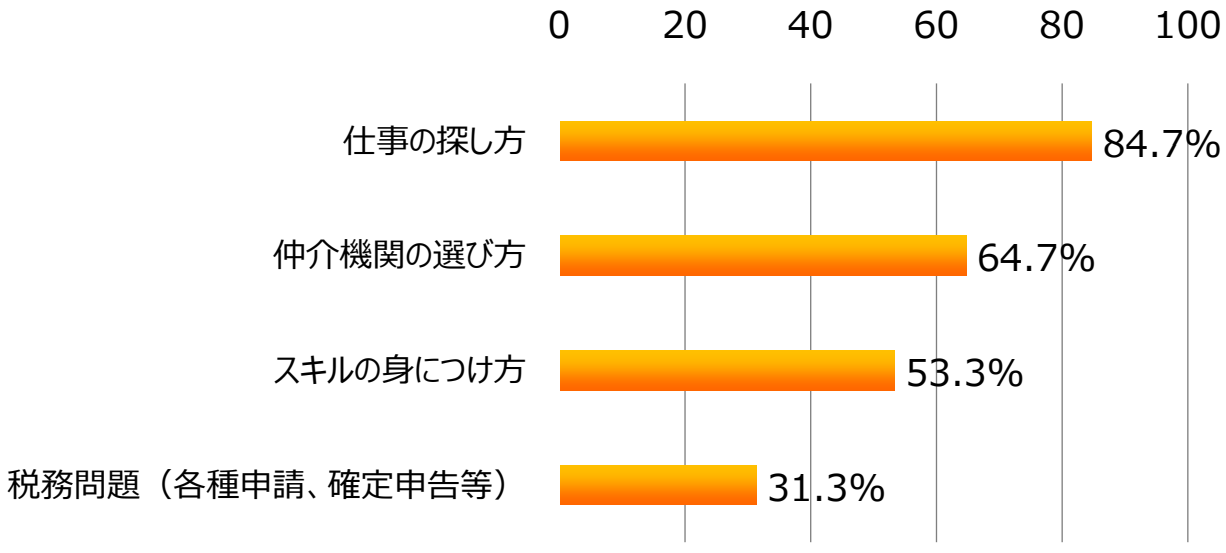


出典 ： HOME WORKERS WEB在宅ワークに関するアンケート 2012年

在宅ワークの現状・発注側の求めるもの

3） 在宅ワークを始める上で、抱えている問題や不安

「仕事の探し方」、「仲介業者の選び方」、「スキルの身につけ方」が上位に

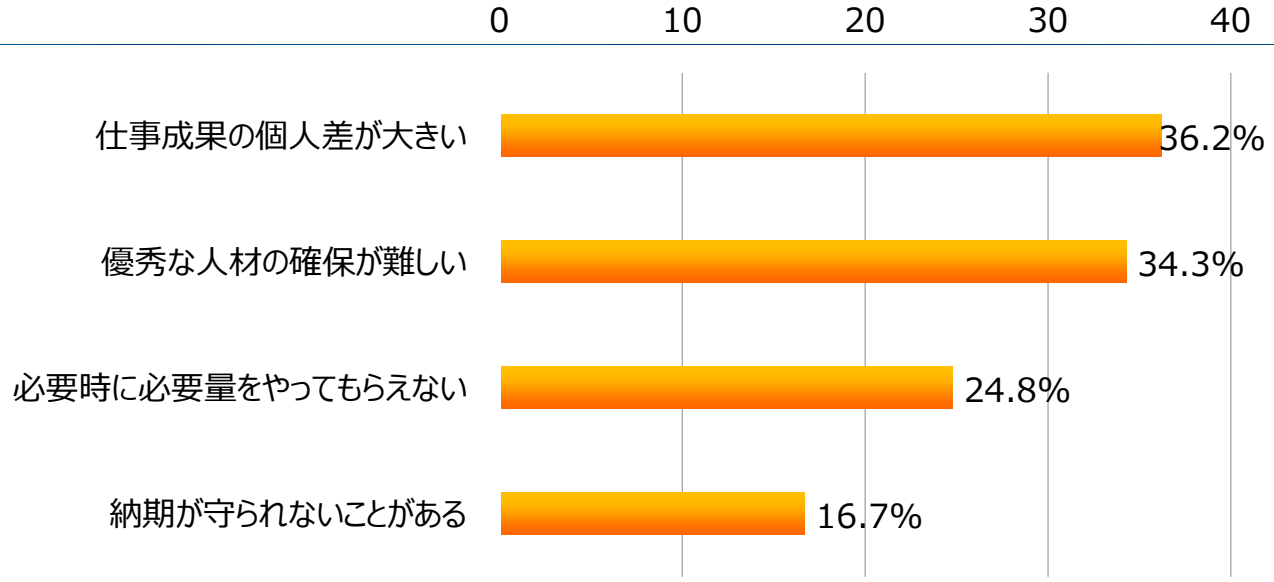


出典 ： HOME WORKERS WEB在宅ワークに関するアンケート 2012年

在宅ワークの現状・発注側の求めるもの

４） 発注事業所側からみた問題点（複数回答、10%以上）

「仕事の成果に個人差が大きい」「優秀な人材の確保が難しい」が問題点

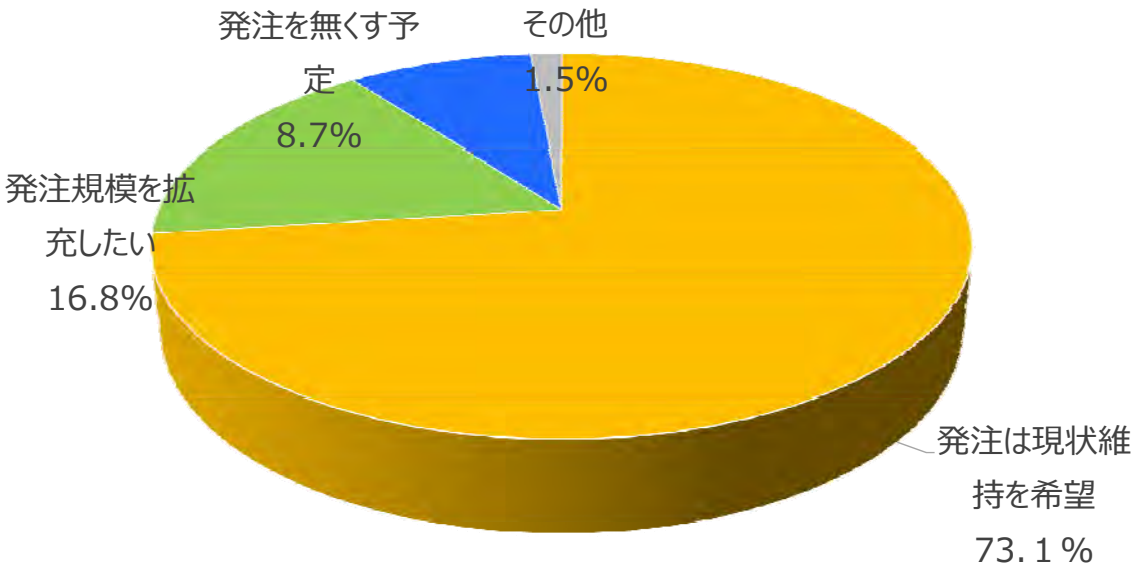


出典 ： 厚生労働省委託事業「在宅就業調査報告書」（（財）社会経済生産性本部） 2008年

在宅ワークの現状・発注側の求めるもの

５） 今後の在宅ワーカーまたは仲介的会社への発注意向

今後も９割の事業所で「継続して発注する」可能性を示す



出典 ： HOME WORKERS WEB在宅ワークに関するアンケート 2012年

在宅ワークを始める際に必要な環境は？
（必要なアイテムー周辺機器）

ファックスは必要？

紙の生原稿が多いデータ入力の場合などでは必需品。
パソコン以外での仕事の発注・連絡に対応。

コピー機は必要？

成果物を一括出力して検証を受ける場合などは、コピーを使った方が能率的。
高性能なコピー機でなくてもＯＫ。

モバイル（携帯端末）は必要？

外出中や、家族の入院など不測の事態に遭遇しても、仕事の進行状況の連絡・確認ができ、双方にとって安心・便利。

家の中での仕事場の確保

仕事場と住空間と区別することは、業務上、情報セキュリティなどリスク管理面で重要。
最低限、ＰＣや電話、資料スペースを確保。
その他、小さい子供がいる場合は注意。

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

１）経理

仕事の内容

専任を置かない中小企業向けに、経理部門を代行してサポートする仕事。
月契約になるため、顧客が増えれば安定した収入が見込める。

適性・能力

・簿記の資格が必要
・表計算ソフトが使える
・経理の実務経験がある

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

2）コールセンター

仕事の内容

通常のコールセンターと同じ、ユーザーからの一次対応を、自宅で行う仕事。サービスサポートや、セットアップサポートなどの仕事や、通販受付などがあり、通常ヘッドセットなどを利用しながら、顧客の電話の内容を、
専用フォームなどに打ち込みながら、対応を行い、対応記録を残す。
わからないところは、本部やマネージャーにエスカレーションも可能。
対応時間の平均は、数分から長い場合は２時間程度まで及ぶこともある。

適性・能力

・見えない相手にも、明るいコミュニケーションが必須
・クレーム的なものもあるので、客観的に相手の話したいことを
まとめて提示する冷静さも必要
・サポートする機器やシステムなどに精通することも必要
・システム系の一般ユーザーサポートの場合、相手が専門
用語などを知らないＰＣスキルの低い人も多いので、難しい
ことでも平易な言葉でしゃべれる知識と忍耐力も必須

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

3）ホームページ制作（*WEB*サイト構築）

仕事の内容

ＨＴＭＬを用いて、企業や団体のホームページを作成する仕事。
場合によっては動画、音楽、画像等を作成するため、専門のソフトを使用。
またホームページ全体の運営を委託されたり、ブログやＳＮＳの管理を
委託されたりする場合もある。
最近ではコンテンツマネジメントシステム（CMS）など簡易な仕組みも導入されている。

適性・能力

・デザインセンス、プロデュース能力が必要
・インターネット全体についての知識が必要
・広報したいポイントが的確につかめる

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

4）データ入力

仕事の内容

通常、キーボードを使って文字や数字、顧客から指定されたフォーマットに従って入力していく仕事。パソコンでの在宅ワークの基本。
レイアウトや文字飾りなどは関係ないので、ワープロソフトではなく、動作の軽快なテキストエディタ（ワープロ機能のうち、文字の入力と基本的な編集機能のみにしぼったもの）を使うと便利。

適性・能力

・一見、簡単そうに思えるが単純なだけに、「速さ」と「正確さ」、こなせる仕事の「量」が要求される
・最低限身につけておきたいのが、ブラインドタッチ（キーボードを見ずにタイプすること）
・同じことを繰り返しても飽きない
・指示通りの書類が出来上がった時に喜びがある

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

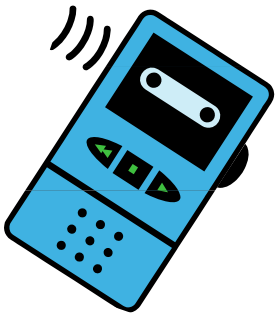
5）テープ起こし

仕事の内容

テープに録音された音声を文字に起こす仕事。
なお、ほとんど聞いたままを文字にする「素起こし」と、文字数に合わせて書き直しをする「リライト」がある。

適性・能力

・書籍、新聞、雑誌をよく読む
・幅広い知識とボキャブラリが必要
・耳で聞き、頭で文字を考え、入力していくので、集中力と根気が必要



在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

6）ライター

仕事の内容

主に雑誌や書籍の記事を執筆する仕事。
ソフトや情報機器のマニュアルや取扱説明書を執筆するテクニカルライターや広告、販売促進のキャンペーンを企画するコピーライターなどに大別される。
各専門分野ごとにライターが存在しており、「何でもできます」より、「この分野ならあの人だ」という専門を持つことが大切。

適性・能力

・書籍、新聞、雑誌をよく読む
・編集知識がある
・誰もがわかる文章にするテクニックが必要

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

7）DTPオペレーター

仕事の内容

専用のソフトを使って文字や画像、イラストなどを組み合わせて
レイアウトし、雑誌や書籍、広告などの版下やフィルムを作成する仕事。
綿密な作業。ソフト、周辺機器、フォントと高額なため、初期費用が相当かかる。

適性・能力

・レイアウトやデザインセンスが必要
・編集知識が必要
・フィルム出力や製版、印刷工程にいたるまでの
幅広い専門知識が必要

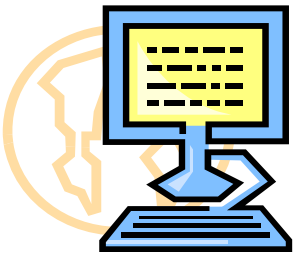
在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

８）プログラミング

仕事の内容

プログラム言語を使ってシステム開発やソフトウェア開発、データベースの構築を行う仕事。
プログラム開発には、ビジュアルベーシック、Ｃ言語、ＪＡＶＡ等がある。
専門性が高く、高収入が見込めるが独学で始めるのは難しい。また、打ち合わせや動作確認が必要なので、在宅だけで仕事をするのは難しい。

適性・能力



・綿密で論理的な思考が要求される
・情報処理の資格は目安になるが、資格よりも実力
・特定のプログラム言語に精通していること
・パソコン全体に関する幅広い知識、ネットワーク関連の知識が必要
・システム、ソフトウェア開発の経験がある

在宅ワークの種類と、それぞれに必要なスキル

９）翻訳

仕事の内容

外国語を分かりやすく日本語に訳したり、日本語を外国語に訳す仕事。
一般的な実務翻訳、単行本などの出版翻訳、映画の字幕を作成したりする映像翻訳などがある。
分野によって専門用語が異なるため、専門分野を勉強することも大切。

適性・能力

・語学力があるのは、前提条件であって、日本語の豊富な語彙と、それ相応の筆力が要求される
・仕事が多い実務翻訳を志すのなら、パソコンや最新技術の動向にも注意を払っておくことが必要
・英語検定準１級以上、ＴＯＥＩＣ ８００点以上